

SUNSHINE EYES 輝け瞳!
みかん一座
 ミュージカル

作・演出 戒田節子

夢へんろ

～どんな時も希望をすてず～

東京

平成19年6月3日(日)
 13時開演(12時30分開場)
 吉祥寺 前進座劇場

【入場料】
 大人3,500円(前売3,300円)
 高校生以下2,500円(前売2,300円)

松山

平成19年6月23日(土)
 18時30分開演(18時開場)
 平成19年6月24日(日)
 13時開演(12時30分開場)
 松山市民会館 中ホール

【入場料】
 大人2,500円(前売2,300円)
 高校生以下2,000円(前売1,800円)

【主催】

みかん一座・NPO法人ニュースタート事務局

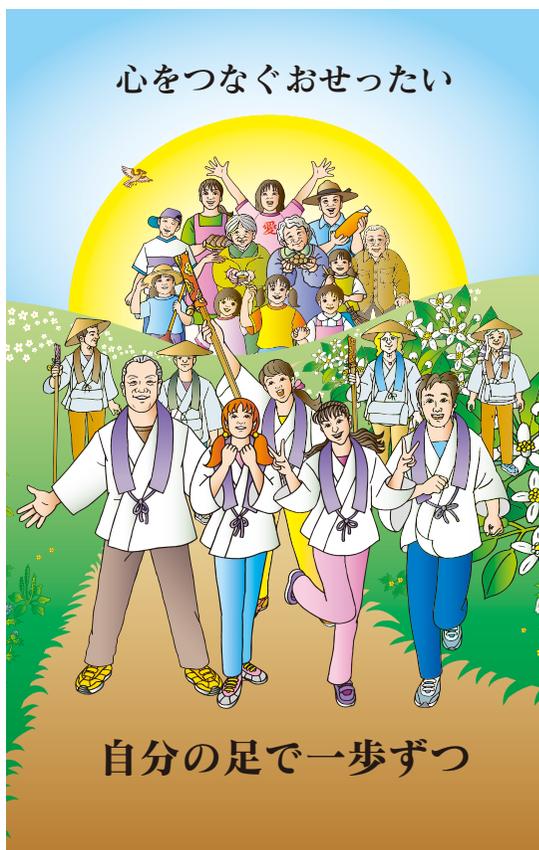
【後援】

愛媛県/愛媛県教育委員会/松山市/松山市教育委員会/社団法人青少年育成国民会議/財団法人社会経済生産性本部
 若者自立塾支援センター/読売新聞東京本社/愛媛新聞社/
 朝日新聞松山総局/日本テレビ/南海放送/愛媛経済同友会/
 「四国へんろ道文化」世界遺産化の会/夢へんろ応援団

【チケット販売】

NPO法人ニュースタート事務局 電話 047-307-3676
 南海放送広報事業センター 電話 089-915-3838
 「四国へんろ道文化」世界遺産化の会事務局
 (星企画株式会社内) 電話 089-934-6088

みかん一座ホームページ <http://www.mikan-ichiza.com/>



えひめ地域づくり研究会議20周年記念誌

刊行近し!

【内容】全国の地域づくり人からのメッセージ/県内関係者が寄せるまちづくりへの思い
 /歴代まちセンOBのコメント/リレーシンポジウムの記録/代表運営委員による
 座談会/まちづくり年表…などなど充実の内容。

●仕様 A4判 50ページ 予価500円

5月刊行に向けて、目下編集作業中です。ご期待ください。

事業名

事業内容

助成事業

- 1 市町の負担すべき年会費等の助成（愛媛県市長会・愛媛県町村会を經由）
 - 財団法人地域活性化センター年会費に係る助成
 - 日本貿易振興機構（ジェトロ）愛媛貿易センター運営負担金に係る助成
 - 松山空港利用促進協議会負担金に係る助成
 - ふるさと情報プラザ利用料金に係る助成
- 2 市町の振興に伴うイベント等開催に係る助成
- 3 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）の受講に係る助成
- 4 市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）の受講に係る助成
- 5 情報セキュリティ監査促進事業に係る助成
- 6 関係団体研修事業等に係る助成
- 7 森林受託管理事業に係る助成
- 8 市町職員研修事業に係る負担（愛媛県研修所）
- 9 地域づくり団体全国研修交流会愛媛大会実行委員会（仮称）への助成

資料配布及び調査研究

- 1 市町職員の研修の在り方についての調査研究、市町の振興策を探るための調査研究等を行う。
- 2 情報誌「えひめイベントBOX」等、市町振興に資する地域づくり情報誌の編集発行に関する委託を行う。
- 3 地方公会計改革基準研究会を開催する。（平成19年度～20年度）
- 4 市町職員を対象とした各種研修会（英会話研修会、管理職員研修会）を開催する。
- 5 県内市町の行財政等の概況を掲載した「愛媛県市町要覧」を編集発行する。
- 6 図書、資料の配付を行う。
「地方財政要覧」、「市町村財政」、「公共施設状況調」、「市町村別決算状況調」等

その他

- 市町への災害見舞金の支給
風水害、火災、地震、その他（高潮、豪雪等）による災害で、「災害救助法」の適用を受けた市町に対する臨時交付金を（財）全国市町村振興協会から受け入れ、当該市町へ災害見舞金を支給する。

平成19年度市町村振興宝くじ発売概要

	サマージャンボ	オータムジャンボ
発売期間	7月19日(木)～8月7日(火)	10月1日(月)～10月19日(金)
抽選日	8月16日(木)	10月24日(水)
発売額	1,260億円(前年度同額)	390億円(前年度同額)
証票単価	300円	300円

平成 19 年度事業のあらまし

財団法人愛媛県市町振興協会

市町村振興宝くじ(サマージャンボ・オータムジャンボ)の収益金を活用して、市町の災害対策事業への支援、行政を担う人材の育成のための研修、市町振興事業に対する助成等市町の健全な発展を図るため、次に掲げる事業を行います。

なお、平成 19 年度新規事業として「基金交付金交付規程」を制定し市町への交付及び助成事業の「地域づくり団体全国研修交流会愛媛大会実行委員会(仮称)」への助成、調査研究事業の「地方公会計改革基準研究会」開催等の 3 事業を設けました。

事業名	事業内容
貸付事業	貸付予定枠 22億円
	貸付対象事業 愛媛県知事の同意又は許可を得た平成 19 年度一般単独事業(一般事業及び合併特例事業等)とする。ただし、土木施設(排水施設を除く。)整備事業については、原則として対象としないものとする。
	貸付条件 <ul style="list-style-type: none"> ● 貸付利率：年 3% (政府資金の貸付金利を基準とし、 政府資金の貸付利息以下の率で理事長が定める。) ● 償還方法：半年賦元金均等償還 ● 償還日：9月 17 日及び 3月 17 日 ● 償還期間及び据置期間：12 年以内うち据置期間 2 年以内
交付金	1 基金交付金 予算額 200,000 千円 サマージャンボ宝くじ収益金をもって愛媛県が協会に交付する愛媛県交付金を積み立てる基金積立金を財源として市町へ交付する。
	2 市町交付金 予算額 249,216 千円 平成 19 年度オータムジャンボ宝くじ収益金を愛媛県が協会に交付する愛媛県交付金を財源として市町へ交付する。
交付金の対象事業は、地方財政法第 32 条に規定する事業で、交付を受けた市町は、市町が必要とする当該事業に充当する。	

媛のくにフラッシュ

「坂の上の雲ミュージアム」松山市



司馬遼太郎の長編小説『坂の上の雲』の舞台、松山に誕生する新たな魅力

小説の主人公、正岡子規、秋山好古、真之…。松山に生まれた3人は、明治という時代をひたむきに駆け抜けていきました。彼らが残した数多くの足跡、遺産、そして気概を、松山市では「『坂の上の雲』のまちづくり」を通じて活かしていく取り組みをおこなっています。

このミュージアムでは、小説や主人公たちの魅力を伝える展示機能をはじめ、小説ゆかりの資源が多く残る松山の魅力を紹介する機能や、地域でのまちづくりに取り組む市民活動の支援拠点機能を持つこととなっており、「『坂の上の雲』のまちまつやま」の魅力が凝縮された、まちづくりの中核施設としての役割を担います。

建築家安藤忠雄設計、大胆なデザイン
かつ周辺の環境と調和した施設



後列
左から
研究員 松本 宏
(伊予市)
研究員 谷本英樹
(宇和島市)
研究員 坂本耕紀
(久万高原町)
研究員 清水和繁
(全農愛媛県本部)
事務員 濱田悦子



前列
左から 主任研究員 小方 悟 専務・所長 栗田史朗 常務・統括部長 丹羽由一

—春は異動の季節です—

平成19年度、えひめ地域政策研究センターのまちづくり活動部門は左記のスタッフで活動します。

この4月から、当センターで勤務した井石主任研究員は県宇和島地方局で、兵頭研究員は宇和島市役所、脇田研究員は愛南町役場で勤務することになりました。今後とも客員研究員としてよろしく願います。

【編集後記】

地元の夫婦だろうか。自装束のお遍路さんを開んで大きく手を伸ばして山のほうを指している。「あの角を曲がってな、ほんでまーすすく行くともうすすくですらーい。」とそんな声が聞こえてきそうである。

四国では至るところで、そんな光景を目にすることができる。

「こんにちは。ご苦勞様です。どうです、少し休みませんか？そういつて声をかける人たちのなんと笑顔のいいことか。時には額に汗に汗は私財を投じてお遍路さんが休めるようにと休憩所まで作る。へんろ文化は千年を超える時間をかけて四国に沁み込んだ。気の遠くなるような時間をかけて成熟した文化。これはもしや究極の地域づくりなのでは!? そう思ってた組織だ。今回の特集。取材にうかがった先々でもてなしを受けた今、改めてこの四国に住むことを誇りに思う。(脇田)

内容についてのご意見やまちづくり活動のトピックなどありましたら、お気軽に『舞たうん』編集係までお寄せください。

〒79010003

松山市三番町四丁目十番地一

愛媛県三番町ビル二階

(財)えひめ地域政策研究センター

まちづくり活動部門

TEL089(932)7750

FAX089(932)7760

発行/平成十九年四月六日

(財)えひめ地域政策

研究センター

印刷/岡田印刷株式会社

<http://www.ecpr.or.jp> E-mail : info@ecpr.or.jp

本誌は、(財)愛媛県市町振興協会の委託を受けて発行しています。